

社会資本総合整備計画

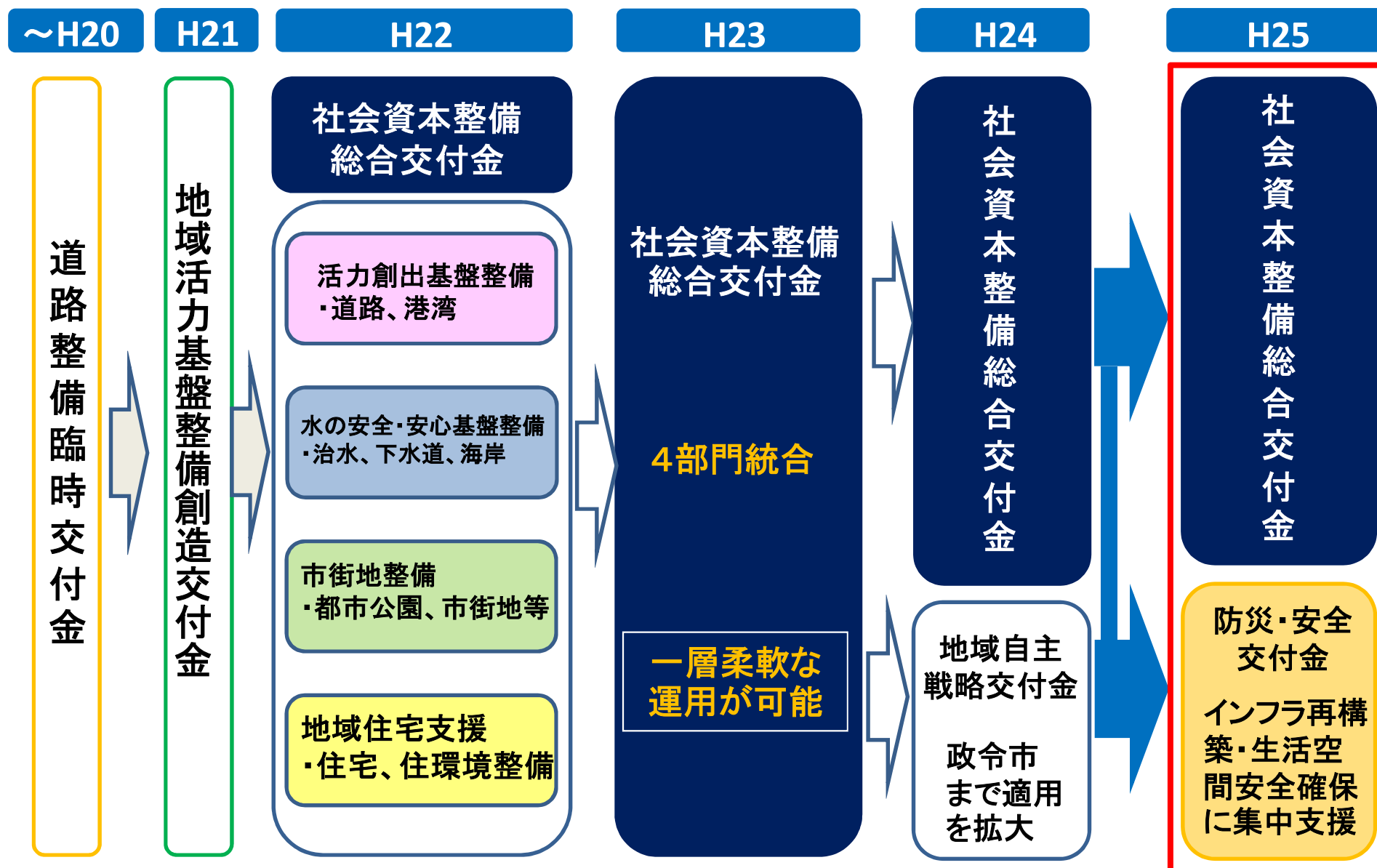
「川崎市内における高速道路インターチェンジアクセス及び
駅等へのアクセスを強化する道路整備」

事後評価について

平成29年10月27日

川崎市公共事業評価審査委員会

道路整備に関する交付金制度の変遷について

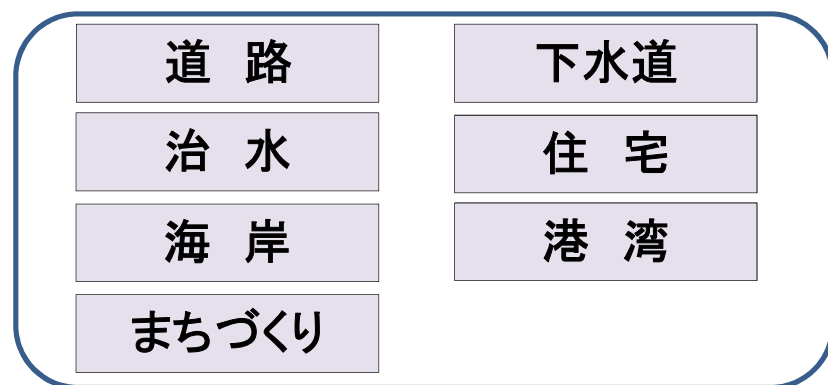


社会資本整備総合交付金について

概要

○活力創出、水の安全・安心、市街地整備、地域住宅支援といった政策目的を実現するため、地方公共団体が作成した**社会資本整備総合計画**に基づき、目標実現のための基幹的な社会資本整備事業のほか、関連する社会資本整備等を総合的・一体的に支援。

従前の補助金



個別補助金
を原則廃止



社会資本整備総合交付金

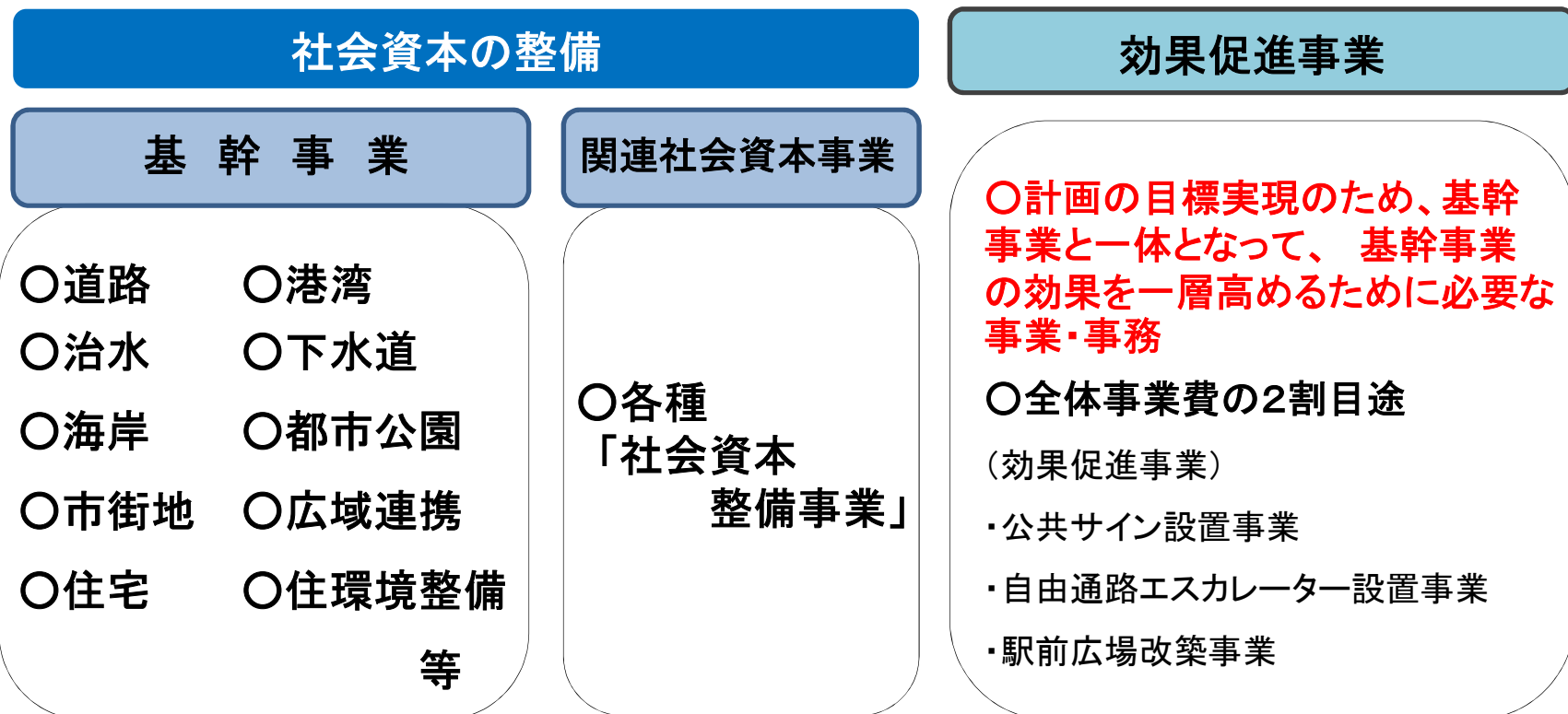
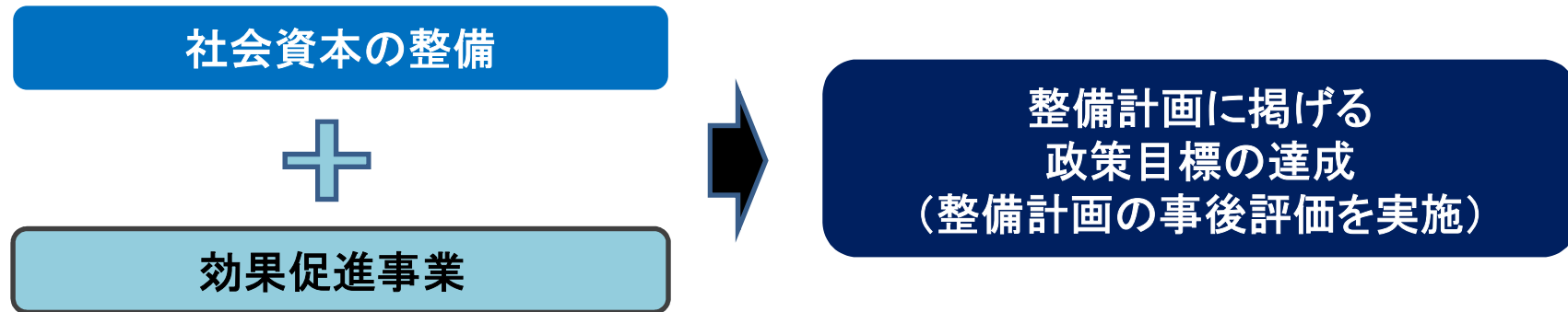
計画期間

3年～5年

事業評価

目標の設定を行い、計画期間が終了した段階で事後評価を実施し、公表する

効果促進事業について



「川崎市内における高速道路インターチェンジアクセス及び 駅等へのアクセスを強化する道路整備」の概要

計画の目標

川崎市内における鉄道駅等とのアクセス道路を整備することにより、拠点地区周辺に集中する自動車交通等の適切な誘導や駅への利便性の向上、道路ネットワークの構築などを図るため、幹線道路の整備を進めることによる交通機能の強化を推進する

計画の期間

平成25年度～平成29年度

要素事業数

・道路整備事業などの基幹事業 13事業
・公共サイン設置事業の効果促進事業 1事業 計14事業
このうち、整備済4事業 整備済率36パーセント

要素事業の 進捗状況

事業費の 区分	計画事業費 当初(千円)	計画事業費 評価時(千円)	執行額 評価時(千円)	進捗率 (%)
基幹事業	35,668,000	20,613,000	7,444,000	36%
効果促進 事業	10,000	14,000	7,000	50%
全体 事業費	35,678,000	20,627,000	7,451,000	36%

※計画事業費(当初) : 当該事業の全体事業費
計画事業費(評価時) : 当該計画期間(5年間)の事業費

「川崎市内における高速道路インターチェンジアクセス及び 駅等へのアクセスを強化する道路整備」の事業概要

主な事業内容

現道拡幅等の整備

基幹事業

現道拡幅等の整備をすることで歩行者の安全確保や、渋滞を解消し、交通の円滑化、駅アクセス機能の強化を図ります。



■現道拡幅 国道409号(市ノ坪)

歩道、自転車専用通行帯等の整備

歩道、自転車専用通行帯等の整備をすることで、交通の円滑化や歩行者、自転車の安全性の向上を図ります。



■歩道・自転車専用通行帯の整備
東京丸子横浜線

駅前広場の整備

駅前広場、道路等の都市基盤整備をすることで、交通結節機能の重点を図るとともに、安全で快適な歩行空間を確保します。



■駅前広場の整備
武蔵小杉駅南口地区東街区

再開発

駅前立地にふさわしい土地の高度利用を促進し、道路・広場等の都市基盤施設の整備により交通結節機能の向上を図り、都市機能と都市型住宅が複合した魅力ある市街地を形成します。

効果促進事業

公共サインの整備

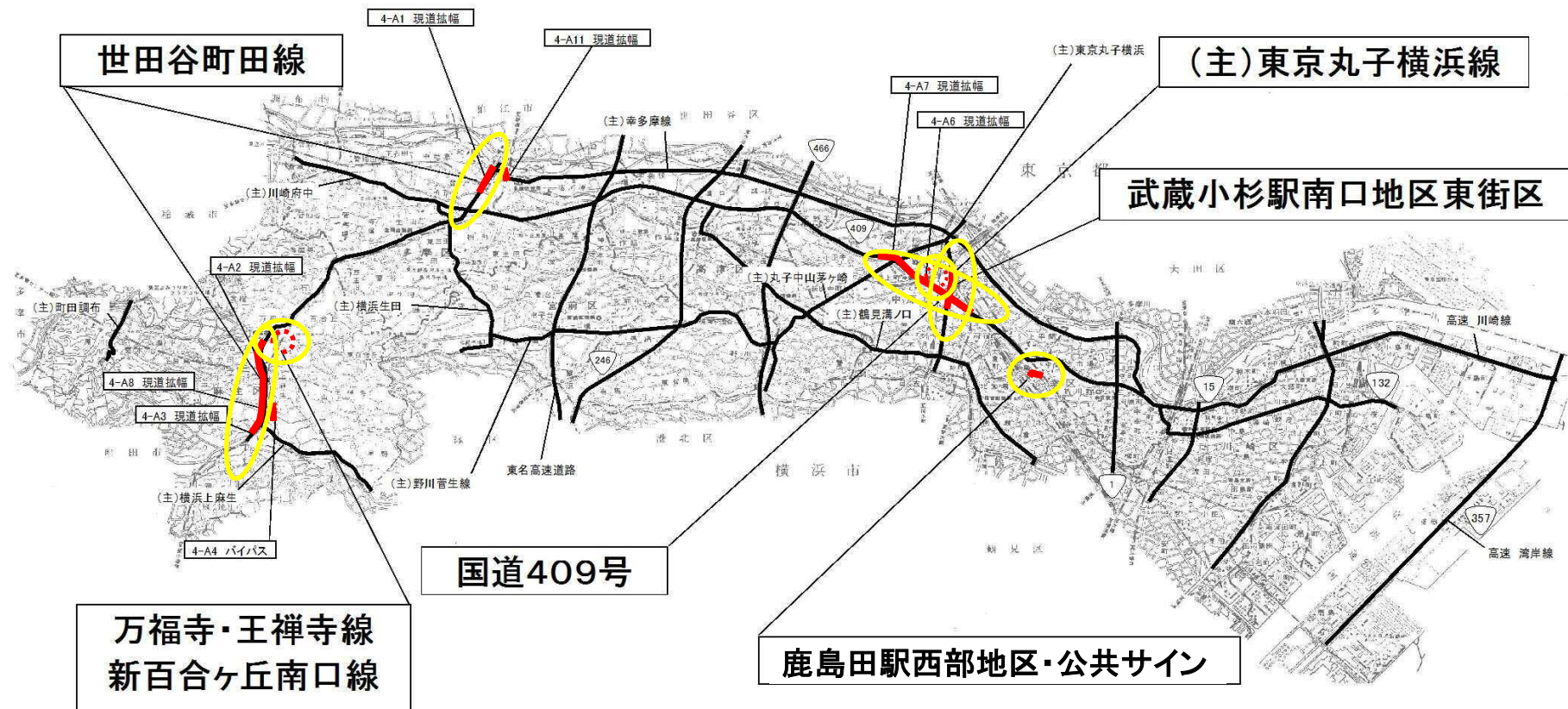
歩行者交通の円滑化や安全性の向上



■公共サインの設置
鹿島田駅西部地区公共サイン整備事業

本計画の整備路線

整備路線箇所



一部完成した主な事業

現道拡幅等の整備

○一般国道409号(市ノ坪)

- ・事業区間: 中原区小杉町
- ・事業期間: 平成17年度～31年度
- ・事業内容: 現道拡幅
- ・整備延長: 約0.6km
- ・事業費 : 約8.7億円
- ・執行額 : 約5.4億円

事業概要

川崎駅方面からJR武蔵小杉駅、等々力緑地へアクセスする道路整備(現道拡幅)することで、歩行者の安全確保や、交通機能の強化を図ります。

効果

歩行者・自転車の安全性が向上しました



整備前



整備後



一部完成した主な事業

歩道・自転車専用通行帯等の整備

○東京丸子横浜線

- ・事業区間: 中原区新丸子東2丁目
- ・事業期間: 平成10年度～30年度
- ・事業内容: 現道拡幅、自転車専用通行帯等
- ・整備延長: 約0.9km
- ・事業費 : 19億円
- ・執行額 : 7億円

事業概要

武蔵小杉駅へのアクセス向上を図るとともに、電線共同溝や自転車専用通行帯の整備を行うことで、自動車・自転車・歩行者の安全確保を図ります。

効果

歩行者・自転車の安全性が向上しました。
交通混雑が緩和されました。
(混雑時平均旅行速度が上がりました)



整備前

整備後



完成した主な事業

駅前広場の整備

○武蔵小杉駅南口地区東街区

- ・事業区間: 中原区新丸子東3丁目
- ・整備期間: 平成25年度
- ・事業内容: 再開発、駅前広場整備
- ・整備面積: 約4,500m²
- ・事業費 : 約5億円
- ・執行額 : 約4.5億円

事業概要

駅前広場、道路等の都市基盤施設の整備による交通結節機能の充実を図るとともに、建築物整備と併せて、**安全で快適な歩行空間を確保**します。

効果

バスの乗降所の整備、歩行空間の整備により、利便性、安全性が向上しました。



整備前



整備後



完成した主な事業

公共サインの整備

○鹿島田駅西部地区 公共サイン整備事業

- ・事業区間: 幸区鹿島田
- ・整備期間: 平成26年度
- ・事業内容: 公共サインの整備
- ・整備概要: 誘導サイン等の整備
- ・事業費 : 約1,400万円
- ・執行額 : 約 700万円

事業概要

公共サインの整備により、**歩行者等の適正な誘導**や**駅への利便性向上**を図るとともに、近隣公共公益施設への安全・安心な誘導を図ります。

効果

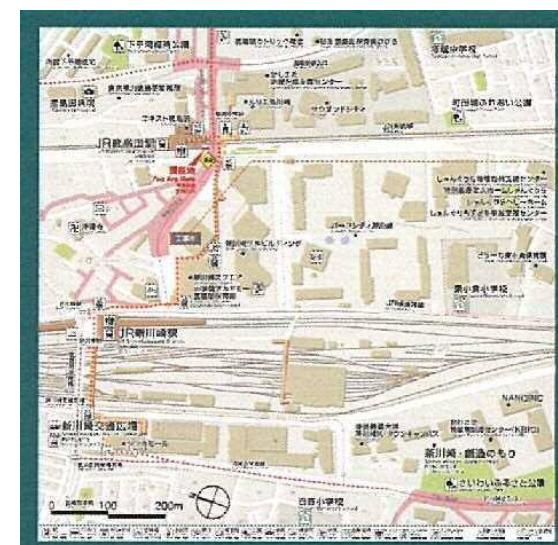
駅周辺の利便性が向上しました。



整備後



案内サイン盤面



成果目標 拠点地区内の幹線道路整備率

- ・ アウトカム指標の定義及び算定式

拠点地区内における幹線道路整備率を算出する。

（拠点地区：武蔵小杉駅、武蔵溝ノ口駅、登戸駅、新百合ヶ丘駅、鹿島田駅）

拠点地区内の幹線道路整備率（％）

＝（駅周辺1km整備済延長（km））／（駅周辺1km都市計画道路延長 約 38（km））

- ・ アウトカム指標の設定について

道路整備による拠点へのアクセスに関する指標として設定した。

拠点地区内の幹線道路整備率の考察

- 拠点地区内の幹線道路整備率について(総延長:約38km)

拠点地区内の 幹線道路整備率	H25実績値		H29	
	整備延長 (km)	整備率	整備延長 (km)	整備率
目標値	—	—	28.4	75%
評価値	25.5	67%	<u>27.2</u>	<u>71%</u>

- 拠点地区内の幹線道路用地買収率について
(総面積 50,000㎡に対する用地買収率)

拠点地区内の 幹線道路用地買収率	H25実績値	H29
面積	33,400 ㎡	39,600 ㎡
買収率	67%	79%

設定指標以外の事業効果（混雑時平均旅行速度）

- ・ アウトカム指標の定義及び算定式

計画に位置づけられている路線の混雑時における平均旅行速度を算出する。

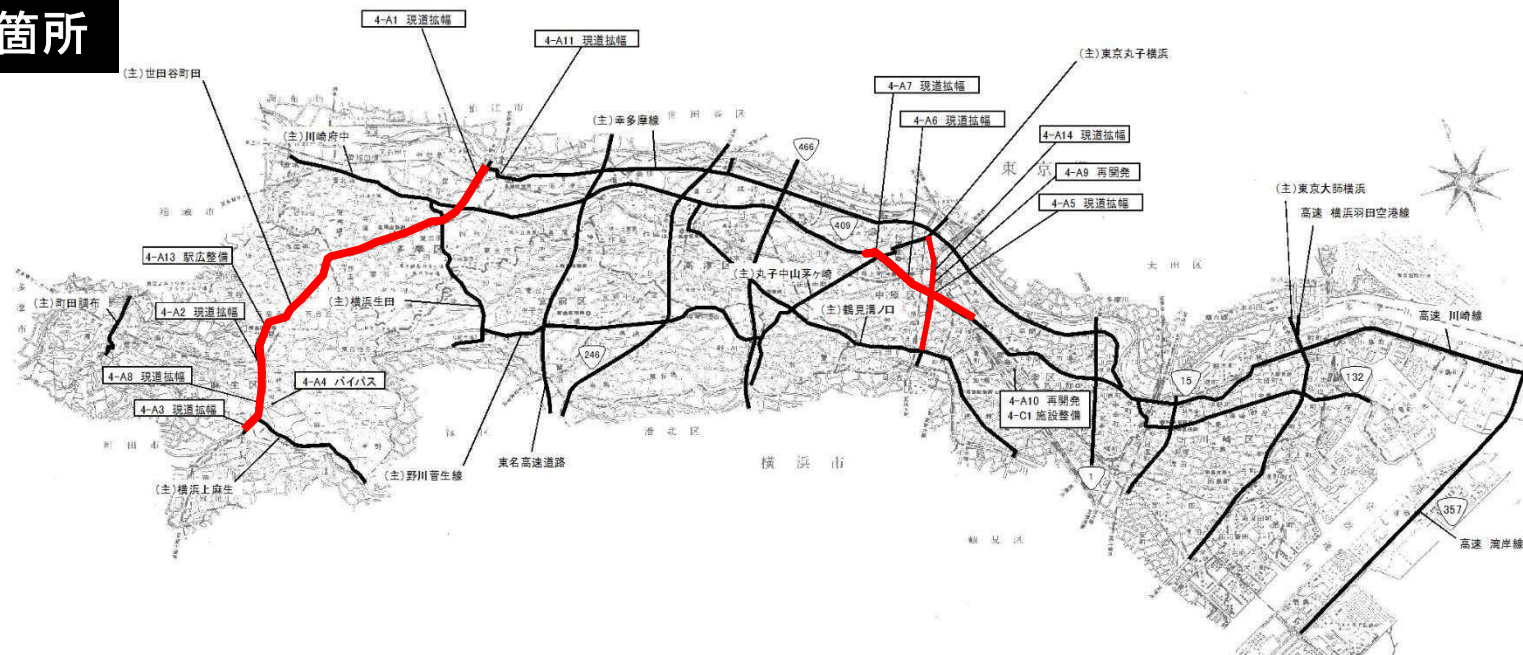
$$\text{混雑時平均旅行速度(km/h)} = \Sigma(\text{区間距離}) \div \Sigma(\text{旅行時間})$$

- ・ アウトカム指標の設定について

慢性的な速度低下は大きな経済損失を招くとともに、生活環境の悪化に繋がることから、商業、業務等の機能が集積する駅等拠点周辺の道路整備を推進することにより、道路交通環境の向上に資する平均旅行速度は評価指標としての関連性があるものとして設定した。

混雑時平均旅行速度調査

調査箇所



結果

路線名	事前事後比較 (km/h) 平成25年度→平成29年度	整備状況
東京丸子横浜線	13.9 → 21.9	概ね完成
国道409号	18.3 → 16.4	一部完成
世田谷町田線	18.1 → 18.4	事業中
全 体	16.9 → 18.3	

→ 交通混雑の緩和、拠点へのアクセス性の向上

市民に対する意見募集の調査状況

- 市民意見の募集方法

- 市のホームページに事業目的、事業概要、事後結果を掲載し、市民から意見を募集。

- また、区役所に冊子、意見書(紙)を設置

- 周知方法: 7月21日版「市政だより」に意見募集を告知。また、市ホームページの意見募集欄に掲載

- 実施期間: 8月1日(火)～8月31日(木)

- 提出方法: 意見書の持参及び郵送、FAX、メール

- 寄せられた市民意見

- 意見数: 5件

- 主な意見内容:

- 「小杉駅周辺は開発により人も車も増加しているが、国道409号は歩道も車道も狭い。国道409号の早期完成を希望」

- 「整備率の目標値が達成できていない。5年もかけて4%しか整備できていないのは少ない」

- 「速度が上昇したとあるが、実感がない」

- 「歩道も車道も狭く自転車の通る場所がない。土地の確保が進んだのであれば早く工事をすべき。」

道路利用者(市民及び事業者)に対する意見募集の調査の状況

・ 意見募集方法

◆市民

- インターネットリサーチ会社を用いて、川崎市在住の登録者にWebアンケートを実施
- 実施期間：平成29年8月(1週間程度)
- 回答数：400件

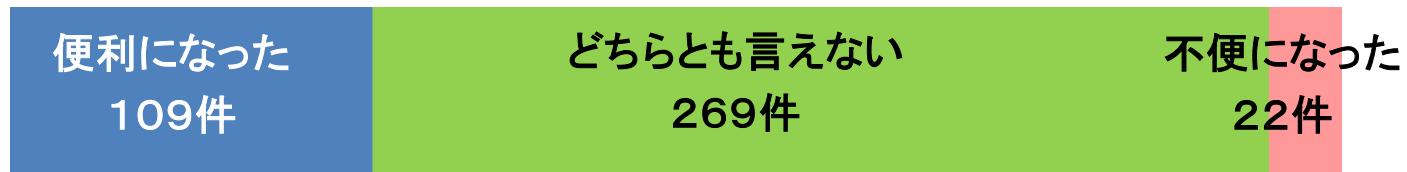
◆事業者

- 神奈川県トラック協会川崎サービスセンター、
神奈川県タクシー協会川崎支部、バス事業者3社にアンケートを実施
- 実施期間：平成29年8月～9月
- 回答数：トラック協会56件、タクシー協会11件、バス事業者105件
計172件

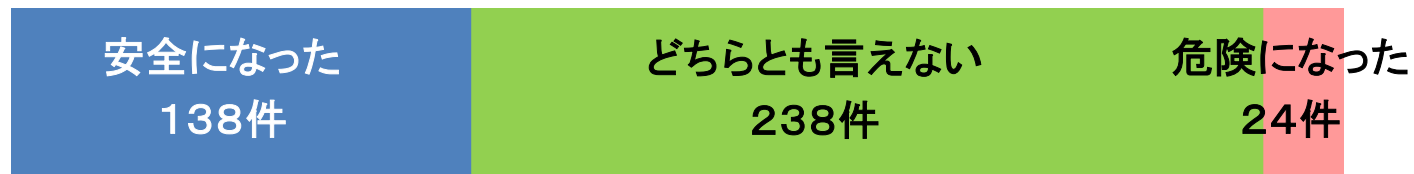
道路利用者(市民)に対する意見募集の調査の結果

- アンケート結果(市民)

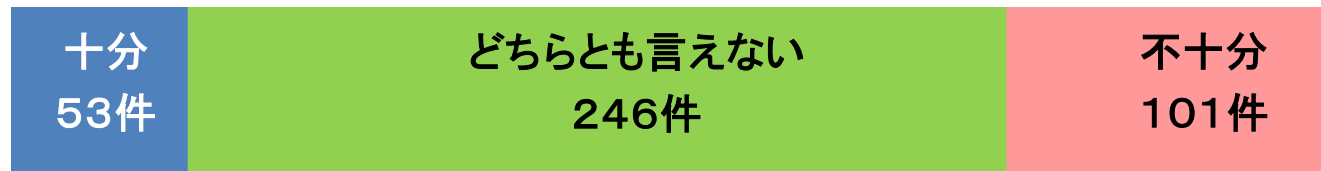
○鉄道駅や高速道路インターチェンジへのアクセス



○道路の歩行空間の安全性や交通事故対策



○避難場所への移動



道路利用者(事業者)に対する意見募集の調査の結果

アンケート結果(事業者)

	タクシー業者	運送業者	バス業者																																												
道路の整備効果	感じる: 64% (内訳) <table><tr><th>項目</th><th>割合</th></tr><tr><td>走りやすくなった</td><td>46%</td></tr><tr><td>渋滞緩和</td><td>23%</td></tr><tr><td>安全性向上</td><td>8%</td></tr><tr><td>所要時間短縮</td><td>8%</td></tr><tr><td>利用者増</td><td>15%</td></tr></table>	項目	割合	走りやすくなった	46%	渋滞緩和	23%	安全性向上	8%	所要時間短縮	8%	利用者増	15%	感じる: 72% (内訳) <table><tr><th>項目</th><th>割合</th></tr><tr><td>走りやすくなった</td><td>40%</td></tr><tr><td>渋滞緩和</td><td>27%</td></tr><tr><td>安全性向上</td><td>14%</td></tr><tr><td>所要時間短縮</td><td>14%</td></tr><tr><td>定時制向上</td><td>2%</td></tr><tr><td>その他</td><td>2%</td></tr><tr><td>利用者増</td><td>1%</td></tr></table>	項目	割合	走りやすくなった	40%	渋滞緩和	27%	安全性向上	14%	所要時間短縮	14%	定時制向上	2%	その他	2%	利用者増	1%	感じる: 63% (内訳) <table><tr><th>項目</th><th>割合</th></tr><tr><td>走りやすくなった</td><td>39%</td></tr><tr><td>渋滞緩和</td><td>21%</td></tr><tr><td>安全性向上</td><td>12%</td></tr><tr><td>所要時間短縮</td><td>12%</td></tr><tr><td>利用者増</td><td>10%</td></tr><tr><td>定時制向上</td><td>5%</td></tr><tr><td>その他</td><td>1%</td></tr></table>	項目	割合	走りやすくなった	39%	渋滞緩和	21%	安全性向上	12%	所要時間短縮	12%	利用者増	10%	定時制向上	5%	その他	1%
項目	割合																																														
走りやすくなった	46%																																														
渋滞緩和	23%																																														
安全性向上	8%																																														
所要時間短縮	8%																																														
利用者増	15%																																														
項目	割合																																														
走りやすくなった	40%																																														
渋滞緩和	27%																																														
安全性向上	14%																																														
所要時間短縮	14%																																														
定時制向上	2%																																														
その他	2%																																														
利用者増	1%																																														
項目	割合																																														
走りやすくなった	39%																																														
渋滞緩和	21%																																														
安全性向上	12%																																														
所要時間短縮	12%																																														
利用者増	10%																																														
定時制向上	5%																																														
その他	1%																																														
走行環境の改善	必要あり: 73%	必要あり: 95%	必要あり: 90%																																												

総合的な所見

・ 計画の成果目標における所見

○拠点区域内の幹線道路整備率に関しては、**用地買収率が67%から79%に上がっているものの**、連続した用地の確保ができなかったため、整備率は71%に留まった。しかしながら、**道路整備に向けた準備は着実に推進していること**から、今後も引き続き事業を推進することにより、幹線道路の整備率は上昇すると思われる。

○設定指標以外の事業効果においては、当該区間の混雑時における**平均旅行速度が平成25年度の16.9(km/h)に対して、平成29年度18.3(km/h)に向上しており、交通混雑の緩和および拠点へのアクセス性の向上が図られたと**考えられる。

○完成した東京丸子横浜線では、歩道・自転車専用通行帯の整備をすることで、**交通の円滑化や歩行者、自転車の安全性の向上が図られました。**

○道路利用者に実施したアンケートにおいては、道路整備により利便性、安全性など一定程度の効果が出ており、**走行環境は全体的に良くなったとの意見がある一方、更なる改善の必要や早期の整備完了を要望する意見もあり、今後も引き続き道路整備を推進する必要がある。**

今後の方針

本計画における要素事業である世田谷町田線や国道409号等の現道拡幅や、駅周辺道路整備を推進することにより、**交通機能の強化を図り、拠点へのアクセス性を向上**させる。

- 次期計画

これまで以上に事業を推進するために、下記の整備計画において、川崎市内の拠点へのアクセス強化に資する道路整備を推進していく。

- ◆現道拡幅、バイパス事業

- 「川崎市内における道路交通の円滑化を促進する道路整備」

- ◆歩道整備

- 「川崎市内における安全・安心な交通環境の整備（防災・安全）」